

原作は「半分の月がのぼる空」の作家・橋本紡。
主演はNHK朝ドラのヒロインを射止めた注目の女優・波瑠。
恋愛小説の新しい名作、遂に映画化。

新潮社が毎年選ぶ(新潮文庫の100冊)の1冊であり、発行部数30万部を超える名作『流れ星が消えないうちに』が遂に映画化。冬の木々と街が美しく調和する武蔵野市・三鷹市を舞台に撮影が行われた。

Slow

★かけがえのない存在に出会うこと、それは失う悲しみを強いられること。

本山奈緒子(波瑠)は、かつての恋人・加地徑一郎(葉山奨之)の事故死の影響から、玄関でしか眠れなくなってしまった。流れる時間の中、いまでは新しく付き合っている恋人・川嶋巧(入江甚儀)との日常が、奈緒子にはあった。加地の親友であった巧と奈緒子にとって、この現実には加地に対する裏切りだと感じ、自分を責めていた。二人の時計の針は止まったまま…

ある日、奈緒子の父・本山諒(小市慢太郎)が突然東京にやってきた。本山の転勤を機に家族は大分に引っ越し、奈緒子は東京で一人暮らしをしていた。「家出をしてきた」という父との二人暮らしが始まる。奈緒子、巧、本山の時間がゆるやかに動き始める。やがて、妹の本山絵里(黒島結菜)が加わり、それぞれが抱える問題が次第に明らかになっていく。

★「動いてこそ見えてくるものがある」

それは、加地がよく口にしていた言葉。かけがえのない存在が、この世に残していった言葉。奈緒子たちの心に変化をもたらされようとしていた。

★悲しみは、きっといつか勇気になる。



Message

日本の安全で美味しい野菜を今後も食べたいならば、日本の野菜を買わなければいけません。好きになったミュージシャンがいて、その方の音楽を聴いていきたいなら、その方のCDを買わなければいけません。これまでに、期待した映画に裏切られたという気分になったこともあると思います。ただ、どんなことでもそうですが、人(=お金)が動かない分野は衰退してしまいます。

まずこの映画を観にきてください。そして、「こういう映画を観たかった。これからも観たい!」と思ってもらえるならば、まわりの方々に「映画館で観てほしい!」と伝えてください。

行動は応援になります。広く宣伝が行き届くと嬉しいです。宣伝のためのチラシなので、ここぞとばかりに、書かせてもらいました。

映画監督 柴山健次

11.21(土)ロードショー 全国共通特別鑑賞券1,400円(税込) 発売中!! ※一部の劇場のみ販売

伊勢丹本館向かい 明治通り側
角川シネマ新宿
03(5361)7878
www.kadokawa-cinema.jp
全席指定・各回入替制

JR吉祥寺駅東口
吉祥寺オデオン
0422(48)6521

JR川崎駅西口直結・ラゾーナ川崎プラザ5F
109シネマズ川崎
0570(007)109
http://109cinemas.net/

JR神戸駅 神戸ハーバーランドumie5階
OSシネマズ神戸ハーバーランド
078(360)3788

12月5日(土)より
梅田芸術劇場劇場前 梅田ロフトB1F
テアトル梅田
06(6359)1080 www.ttcg.jp
テアトルシネマグループ

近日上映
名古屋バルコ東館8F
センチュリーシネマ
052(264)8580